



薬小っ子スタンダード
当たり前のことを
当たり前に行える子に

薬師寺小だより

平成30年11月
下野市立
薬師寺小学校長
鈴木一恵



くつ揃え
家族のお手伝い
やさしく



家族との会話
親子読書
かしこく



家族と一緒に
正しい食習慣
たくましく

子ども達の笑顔溢れる伝統の薬小祭



保護者の皆様や地域の方々、そして70名もの未就学のお子さんも来校し、11月3日(祝)盛大に薬小祭が行われました。愛情溢れる薬小PTAの皆様が30年以上も引き継いで下さっている伝統ある薬小祭です。今年も笑顔いっぱいの楽しい一日となりました。



「薬小っ子集会」で薬小祭の幕が開きました。どの学年も心を一つにして堂々と発表することができました。毎日一生懸命に頑張っているお子様の様子を多くの皆様にお伝えすることができました。



＝担任の声から＝

- ・薬小祭での発表や係活動が子ども達一人一人の存在感や意欲につながっていました。
- ・学年の成長に合わせてコミュニケーション力や判断力が向上していると感じました。
- ・6年生が最高学年としてなかよし班活動をしっかりと引っ張っていた姿に感心しました。

今年は初めてオカリナ演奏や全校群読を取り入れました。『きれいな音色を届け隊』の音色がとて心に残りました。『お祭り』の群読も迫力満点で会場を沸かせました。



午後は恒例のPTA主催イベント。各コーナーで頂いた綿あめ、お菓子、おもちゃはこの日に向けて一生懸命に頑張った子ども達への御褒美のようでした。

早朝からの800個以上の綿あめを作って下さった役員の皆様を始め、各専門部の皆様には準備の段階から大変世話になりました。ありがとうございました。

今年も手作り作品によるバザーを出店して下さった保護者の皆様から、児童の活動費にと収益金2万750円を頂戴しました。大切にさせていただきます。ありがとうございました。



なかよし班フェスティバル

上級生と下級生が仲良く活動する姿は薬小ならではの微笑ましい光景。異学年交流活動を通して、子ども達の連帯感や自主性、創造性が育まれました。



1・2班 新聞紙「の」の字探し



3・4班 空き缶タワー



5・6班 鉛筆立て



7・8班 万歩計ダッシュ



9・10班 紙ちぎりレース



11・12班 的当て



13・14班 キャップつかみ



15・16班 ボーリング



17・18班 15秒当て



19・20班 射的



21・22班 箱の中身当て

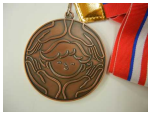


23・24班 豆つかみ

下野市児童表彰 市長さんから6年生へ銅メダル



10月26日下野市児童表彰が行われ、6年生一人一人に広瀬寿雄市長様から銅メダル、池澤勤教育長様から賞状が授与されました。6年生の姿はとて凛々しく、誇らしく思いました。6年生はこれまでいろいろな場面で頑張ってきました。児童表彰はその証しに一人一人の良いところを認めて頂くことができた記念日です。



ずしりと手応えのある銅メダルの重さはこれから活躍する6年生への期待の重さです。描かれているデザインは地域の皆さんが支え、見守ってくださっていることを表現しています。デザインされた版画家宇賀地洋子先生は南河内出身で、本校の玄関にも素晴らしい作品が飾られています。(1996年卒業生一同寄贈) 御出席頂いた地域の皆様ありがとうございました。

卒業式に向けた花の準備スタート



下級生にとって憧れの存在である6年生の卒業式に飾る花の準備がスタートしました。

10月24日に「花の輪運動」としてミニストップ下古山店様から頂いたパンジー、ピオラ、ノースポール300苗を全校生がペアになってプランターに2苗ずつ植え付けました。

また、11月12日には環境委員が人権花壇の整備を行い、パンジーやチューリップの植え付け準備をしました。今年はなかよし学級のお友だちが種から育ててくれる葉牡丹も加わり、春が楽しみです。

毎日、花壇を見守っていた子ども達からは、マリーゴールドやサルビアを抜いてしまうのが忍びなかったようで「捨てないで、とっておいて。」の声。優しい心が育っている事とても嬉しく思いました。花瓶に挿して楽しみました。



小中一貫教育推進の様子

市内各中学校区では、9年間の学びをつなぎ、健やかな成長、豊かな心の育成を目指して、小中一貫教育を推進しています。特に南河内中学区は、数年後の義務教育学校設立を見据えた小中連携を進めています。

- 小中一貫の日を設定し、隔月、4校の教職員が薬師寺小に集合して児童生徒の学力向上や外国語活動、体力作りや心の教育等を協議しています。3小学校は学力向上推進事業を行っています。

- 授業研究会や行事を参観したり、小中教員交流研修を行ったりして、小中の理解を深めています。

南河中学校祭「夕顔祭」を参観した教員の感想

薬小を卒業し成長した子ども達がステージで発表する姿に喜びと感動を覚えた1日でした。合唱コンクールでは、どのクラスも夕顔祭に向けて一生懸命に練習してきた気持ちが、歌声や表情、立ち姿から伝わってきました。生徒全員で夕顔祭を盛り上げる姿は、生徒一人一人が学校祭のテーマである「夢の扉」を開いていく姿に思え、とても感動しました。

- 「子ども未来プロジェクト（支え合いわかり合い心の輪を広げよう）」を進めています。



プロジェクトの一環として「小中合唱交流」を行っています。今年は中学生が「～拝啓～十五の君へ」を披露してくれました。その他にも市歌を合唱したりゲームやジャンケン列車をしたりと、中学生と小学生が集い、楽しい時間となりました。

- 外国語活動には南河内中と同じALT（外国語指導助手）が来校し、小中の継続を見据えた授業を進めています。コミュニケーション力も育っています。



高学年の外国語活動では、「This is my town!」と題して、英語で自分の住んでいる所を説明する学習が実施されています。次年度から「しもつけ未来学習」が開始され、英語による発進力を育成していきます。その土台となる学習です。

- 南河内地区の歴史や自然を大切に「ふるさと学習」を各校で進めており、各校の情報を共有したり、よさを伝え合ったりしています。

下野市小学生陸上記録会で薬小健闘



11月1日栃木市総合運動公園にて市小学校陸上記録会が行われました。12種目中9種目で6位入賞という健闘ぶりでした。400mリレーでは男子5位、女子3位となりました。7月の猛暑にも耐え、指導者の下で一生懸命に練習に励んだ努力が実を結びました。上級生の健闘は下級生への励みともなります。

応援にお越し頂いた保護者の皆様にも感謝いたします。来年の会場は下野市大松山運動公園に新設される陸上競技場となります。秋期開催の予定です。